

J. A. C. E. T.

社団法人

日本臨床工学技士会会誌

Journal of Japan Association for Clinical Engineering Technologists

2008
No.33

(社) 日本臨床工学技士会

第18回日本臨床工学会抄録集



第 18 回日本臨床工学会 及び 平成 20 年度社団法人日本臨床工学技士会総会

テーマ かけがえのない生命(いのち)を Support する臨床工学技士

- **会 期**：平成 20 年 5 月 17 日（土）～18 日（日）
- **会 場**：秋田市文化会館、秋田県生涯学習センター
- **学会長**：熊谷 誠（秋田赤十字病院 医療技術部 臨床工学課）
- **主 催**：（社）日本臨床工学技士会 （社）秋田県臨床工学技士会
- **後 援**：秋田県/秋田市/社団法人 秋田県医師会/社団法人 秋田県病院協会/社団法人 秋田県看護協会/社団法人 秋田県薬剤師会/社団法人 秋田県放射線技師会/社団法人 秋田県臨床衛生検査技師会/社団法人 秋田県栄養士会/社団法人 秋田県理学療法士会/秋田県作業療法士会/社団法人 日本医師会/日本移植学会/日本医療機器学会/特定非営利活動法人 日本医工学治療学会/日本医用機器工業会/日本医療器材工業会/日本医療機器産業連合会/日本呼吸療法医学会/日本手術医学会/日本心臓病学会/日本人工臓器学会/日本腎不全看護学会/日本臨床麻酔学会/社団法人 全国腎臓病協議会/社団法人 全日本病院協会/社団法人 日本栄養士会/社団法人 日本看護協会/社団法人 日本呼吸器学会/社団法人 日本循環器学会/社団法人 日本腎臓学会/社団法人 日本生体医工学会/社団法人 日本臓器移植ネットワーク/社団法人 日本透析医会/社団法人 日本透析医学会/社団法人 日本泌尿器科学会/社団法人 日本放射線技師会/社団法人 日本麻酔科学会/社団法人 日本理学療法士協会/社団法人 日本臨床衛生検査技師会/社団法人 大阪府看護協会/社団法人 電子情報技術産業協会/社団法人 東京都看護協会/特定非営利活動法人 日本胸部外科学会/特定非営利活動法人 日本心臓血管外科学会/特定非営利活動法人 日本不整脈学会/有限責任中間法人 日本アフエレスス学会/有限責任中間法人 日本救急医学会/有限責任中間法人 日本高気圧環境・潜水医学会/有限責任中間法人 日本集中治療医学会/財団法人 医療機器センター/財団法人 国際医療技術交流財団/日本体外循環技術医学会/日本臨床工学技士教育施設協議会
- **総 会**：平成 20 年 5 月 18 日（日）10：55～11：55
第 1 会場（大ホール）

■第 18 回日本臨床工学会

学会事務局：秋田赤十字病院 医療技術部 臨床工学課

〒010-1495 秋田県秋田市北上手猿田字苗代沢 222-1

E-mail：jacet18@mtoyou.jp

第 18 回日本臨床工学会実行委員

学 会 長：熊谷 誠（秋田赤十字病院 医療技術部 臨床工学課）
副 学 会 長：佐藤 郁郎（男鹿みなと市民病院 透析室）
事 務 局 長：小林 久益（秋田赤十字病院 医療技術部 臨床工学課）
運 営 委 員 長：橋村 春和（花園病院 透析室）
副運営委員長：久保田政昭（中通総合病院 生理検査室）
大会本部長：佐藤 賢行（秋田県成人病医療センター 医療技術部）
会 計：小林 浩悦（秋田大学医学部付属病院 血液浄化療法部）
委 員：伊藤 豊彦（秋田南クリニック 透析室）
尾留川 敦（秋田赤十字病院 医療技術部 臨床工学課）
金沢 純一（市立秋田総合病院 救急集中治療室）
小玉 智樹（本荘第一病院 検査科）
佐藤 智（立木医院）
佐藤 忠寛（雄勝中央病院 透析センター）
佐藤 勝（市立角館総合病院 透析室）
柴田 浩樹（仙北組合総合病院 ME センター）
高橋 清文（中通総合病院 臨床工学室）
千葉 一幸（松田記念泌尿器科クリニック）
富木 一磨（平鹿総合病院 手術室）
豊島 孝司（中通総合病院 臨床工学室）
那須川 淳（雄勝中央病院 透析センター）
日沼 吉孝（秋田県立脳血管研究センター 臨床工学室）
藤本 誠（おのぼ腎泌尿器科クリニック）
丸山 広（秋田組合総合病院 ME センター）
守澤 隆仁（花園病院 透析室）
森屋 勝己（山本組合総合病院 ME センター）
安田 安美（藤原記念病院 透析室）

平成20年度社団法人日本臨床工学技士会総会

会 期 平成 20 年 5 月 18 日(日)

時 間 10 : 55 ~ 11 : 55

**会 場 秋田市文化会館
第 1 会場 (大ホール)**

第 18 回日本臨床工学会及び社団法人日本臨床工学技士会 平成 20 年度総会開催にあたり

社団法人 日本臨床工学技士会 会長
川崎 忠行

会員各位

このたび、平成 20 年 5 月 17 日～18 日の間、秋田市において「第 18 回日本臨床工学会」及び「社団法人日本臨床工学技士会平成 20 年度総会」を開催するはこびとなりました。

熊谷誠学会長および秋田県臨床工学技士会実行委員各位の今回の開催に向けたご尽力に対し、心から御礼申し上げます。

さて昨今の医療機器の専門職である臨床工学技士をとりまく環境は、良い方向に急激に変化をしつつあります。

その具体的な例として：

1. 平成 19 年 4 月に改正医療法が施行され、医療機器安全管理責任者の医療機関内の配置が義務づけされたこと
2. 平成 19 年 12 月には臨床工学技士の積極的な活用を促す厚生労働省医政局長通知が発出されたこと
3. 平成 20 年 4 月から医療機器事業者による“立会い”が規制され、臨床工学技士の本来の役割期待が再認識されつつあること
4. 中央社会保険医療協議会から提示された平成 20 年度の診療報酬改定の基本方針のなかに、臨床工学技士の業務に関する加算が示されたこと

等が実現し、我々臨床工学技士にとってフォローの風が吹き始めたことと共に、社会的にも臨床工学技士への期待も急激に高まりつつあります。

当会としましては、このような昨今の流れを臨床工学技士にとって好機と捉え、臨床工学技士が担っている業務の実態調査及び学術技能の研鑽・資質の向上等をはかりつつ、与えられた臨床工学技士の社会的使命達成に更なる注力をしてゆきたいと思っています。

また会員各位におかれましては、今回の「第 18 回日本臨床工学会」へ多数の方々のご参加をお願いするとともに、上記のフォローの風を更に後押しをして頂きたいと思っています。

最後になりましたが、今回の「第 18 回日本臨床工学会」及び「社団法人日本臨床工学技士会平成 20 年度総会」が成功裡に開催されますことを期待いたします。

第 18 回日本臨床工学会開催のご挨拶

第 18 回日本臨床工学会

学会長 熊谷 誠

(社団法人 秋田県臨床工学技士会 会長)

会員の皆様におかれましては日頃より（社）日本臨床工学技士会ならびに（社）秋田県臨床工学技士会に多大なるご理解ご協力を賜り、そのご高配に感謝申し上げます。

さてこの度、第 18 回日本臨床工学会を秋田県で開催できることは、（社）秋田県臨床工学技士会として大変に名誉なことであるとともに、その責任の重さを痛感しております。

学会開催まであと僅かとなりましたが、全国の会員の皆様にとって有意義な学会になるよう、手探りながらも万全を期して学会準備委員会を中心に鋭意準備を進めておりますので、是非、多くの会員の皆様にご参加頂きますよう、心よりお待ち申し上げます。

本学会ではメインテーマを“かけがえのない生命（いのち）を Support する臨床工学技士”とし、臨床工学技士が日々進歩する生命維持管理装置を通して、医療機器管理に重点を置くことで安全な医療が提供できる事をテーマに掲げました。

臨床工学技士法が制定され 20 年が経過し、我々臨床工学技士をとりまく環境は大きく変わろうとしています。平成 19 年 4 月には医療法が改正され、医療機器安全管理責任者の設置が義務付けられ、平成 20 年 4 月より医療機関における医療機器での立会い規制が実施されることや、診療報酬改定で臨床工学技士業務に初めて医療機器安全管理料が認められことは、多くの施設で臨床工学技士が担う業務がさらに拡大され雇用の促進につながるものと期待しております。

本学会では特別講演 1 題、教育講演 2 題、シンポジウム 2 題、ワークショップ 3 題、特別セッション 1 題、コンセンサスカンファレンス 1 題、市民公開講座 1 題を企画いたしました。

特別講演では日本大学医学部の押田茂實先生に『医療事故の実情と問題点—報道されていない現状—』と題して、普段なかなか聞くことのできない具体的な臨床工学領域の実例を交えて、ご講演をお願いしております。

また教育講演 1 では立川メディカルセンター中越診療所の青柳竜治先生に『2 回の震災体験から得た教訓と今後の取り組み』と題して、直ぐにすべき震災対策などをアドバイスが頂けるものと期待しております。教育講演 2 では向陽メディカルクリニックの青池郁夫先生に『これからの医療現場に必要とされる臨床工学技士とは』と題して、現状の業務だけで満足することなく、医療職で唯一工学を修めた臨床工学技士に、何が必要とされているのかお話しいただきます。

シンポジウムでは医療機器安全管理責任者の果たすべき役割と“医療法改正”と“立会い基準”に関して、行政側の考えを是非、伺ってみたいと考えています。

さらにワークショップでは、それぞれの業務において第一線でご活躍の方々に、3 題の分野で活発な討論を期待しております。特別セッションでは専門学校卒業から進学、学位取得までの実例を紹介して頂き、コンセンサスカンファレンスでは透析液清浄化ガイドラインの適合性を、それぞれディスカッションしていただきます。また市民公開講座では JICA から海外支援での臨床工学技士が求められている現状についてお話しいただきます。

最後に、一般演題では皆様のご支援により応募総数は過去最高の 299 題を頂き、この紙面をお借りして御礼申し上げます。また今学会を開催するにあたり、ご尽力を賜りました（社）日本臨床工学技士会、北海道・東北連絡協議会、（社）秋田県臨床工学技士会をはじめ各都道府県技士会ならびに会員の皆様や関係各位の皆様は厚く御礼申し上げますとともに、ご協賛頂きました企業各位のご厚情に深く感謝申し上げます。

第18回日本臨床工学会開催プログラム 日程

第1日目：5月17日（土）

会場	第1会場 大ホール（1階席のみ）	第2会場 2階 小ホール	第3会場 5階 大会議室
9:00	開会式 9:10～9:15		
10:00	シンポジウム1 9:15～10:30 医療機器の安全管理のための 臨床工学技士の果たすべき役割 ～医療機器管理責任者の立場から～ 司会 那須野修一 松阪 淳	血液浄化（透析液清浄化①） 9:15～10:00 O-001～O-005 座長 大澤貞利	ME機器（管理ソフト①） 9:15～10:10 O-037～O-042 座長 森田高志
11:00	ワークショップ1 10:35～11:50 チーム医療としての呼吸器管理 司会 深澤伸慈 真下 泰	血液浄化（透析液清浄化②） 10:05～10:50 O-006～O-010 座長 森脇彰一	ME機器（管理ソフト②） 10:15～11:00 O-043～O-047 座長 山本浩幸
12:00		教育講演1 10:55～11:50 2回の震災体験から得た教訓と 今後の取り組み 講師 青柳竜治 司会 本間 崇	ME機器（危機管理） 11:05～11:50 O-048～O-052 座長 後藤雅宏
13:00	ランチョンセミナー1 12:05～13:05 講師 芝本 隆 司会 熊谷 誠 共催 味の素ファルマ株式会社	ランチョンセミナー2 12:05～13:05 講師 黛 成彦 高倉照彦 司会 中川麻衣 共催 テルモ株式会社	ランチョンセミナー3 12:05～13:05 講師 松尾賢三 司会 峰島三千男 共催 三菱レイヨン・エンジニアリング株式会社
14:00	特別講演 13:20～14:25 医療事故の実情と問題点 —報道されていない現状— 講師 押田茂實 司会 坂本哲也	血液浄化（透析液） 13:40～14:45 O-011～O-017 座長 三浦國男 上山峰雄	ME機器（安全管理①） 13:40～14:25 O-053～O-057 座長 綿引哲夫
15:00	コンセンサスカンファレンス 14:30～16:00 透析液清浄化ガイドラインの 適合性を検討する 司会 扇谷 博 小野信行	血液浄化（膜の性能評価①） 14:50～15:45 O-018～O-023 座長 田中雅巳	ME機器（安全管理②） 14:30～15:15 O-058～O-062 座長 菊地 徹
16:00		血液浄化（管理・教育） 15:50～16:45 O-024～O-029 座長 猪俣 仁	ME機器（教育） 15:20～16:05 O-063～O-067 座長 古平 聡
17:00	シンポジウム2 16:05～18:00 “医療法改正”と“立会い基準”に関する 臨床工学技士の対応 司会 西村和典 吉田 靖	血液浄化（症例） 16:50～17:55 O-030～O-036 座長 山下芳久 岡崎正信	ME機器（日常点検） 16:10～16:55 O-068～O-072 座長 中西秀雄
18:00			ME機器（AED 他） 17:00～17:45 O-073～O-077 座長 尾越 登

第 18 回日本臨床工学会開催プログラム 日程

第 4 会場 4 階 第 2 会議室	第 5 会場 4 階 第 4 会議室	秋田県生涯学習センター 3 階 講堂	展示会場 地下展示ホール	会場
				9:00
循環（手術室） 9:15～10:00 O-078 ～ O-082 座長 高道昭一	呼吸（NPPV） 9:15～10:00 O-117 ～ O-121 座長 塩原伸明			10:00
循環（カテーテル） 10:05～10:50 O-083 ～ O-087 座長 國井由花	血液浄化（急性血液浄化） 10:05～10:50 O-122 ～ O-126 座長 大石義英	9:10～11:00 ポスター貼付け		11:00
循環（体外循環） 10:55～11:50 O-088 ～ O-093 座長 鈴木一郎	ME 機器（中央管理） 10:55～11:35 O-127 ～ O-130 座長 後藤 武			12:00
ランチョンセミナー 4 12:05～13:05 講師 中永士師明 司会 浅沼義博 共催 旭化成クラレメディカル株式会社		11:00～15:00 ポスター閲覧	9:10～17:30 企業展示会	13:00
				14:00
循環（ペースメーカー①） 13:40～14:35 O-094 ～ O-099 座長 高垣 勝	呼吸（呼吸管理①） 13:40～14:25 O-131 ～ O-135 座長 岡田 功			15:00
循環（補助循環） 14:40～15:35 O-100 ～ O-105 座長 山崎康祥	呼吸（呼吸管理②） 14:30～15:15 O-136 ～ O-140 座長 前田孝雄			16:00
血液浄化（バスキュラーアクセス） 15:40～16:35 O-106 ～ O-111 座長 大浜和也	特別セッション 15:25～17:35 臨床工学技士の Step Up！ ～進学，学位取得による臨床工学技士の さらなる展望～ 司会 佐藤郁郎 荒川昌洋	15:00～16:10 ポスター発表		17:00
臨床工学技士（教育） 16:40～17:25 O-112 ～ O-116 座長 百瀬直樹				18:00
	秋田市民交流プラザ ALVE 2 階多目的ホール 懇親会 18:50～20:50			

第18回日本臨床工学会開催プログラム 日程

第2日目：5月18日（日）

会場	第1会場 大ホール（1階席のみ）	第2会場 2階 小ホール	第3会場 5階 大会議室
9:00	教育講演2 8:50～9:35 これからの医療現場に必要とされる 臨床工学技士とは 講師 青池郁夫 司会 峰島三千男	血液浄化（膜の性能評価②） 8:50～9:45 O-149～O-154 座長 助川良二	ME機器（その他①） 8:50～9:35 O-169～O-173 座長 中川孝太郎
10:00	ワークショップ2 9:40～10:40 次世代を担う臨床工学技士のあるべき姿を巡って ～臨床工学技士養成校の入学者の現状と将来～ 司会 相澤康弘	血液浄化（ハード・回路） 9:50～10:45 O-155～O-160 座長 斎藤 徳	ME機器（安全管理②） 9:40～10:35 O-174～O-179 座長 渡邊晴美
11:00	総会 10:55～11:55		
12:00	11:55～12:15 AJINOMOTO AWARD		
13:00	ランチョンセミナー 5 12:25～13:25 講師 内野順司 司会 森上辰哉 共催 ニプロ株式会社	ランチョンセミナー 6 12:25～13:25 講師 河野龍太郎 司会 那須野修一 共催 キリンファーマ株式会社	ランチョンセミナー 7 12:25～13:25 講師 谷口正智 司会 山家敏彦 共催 中外製薬株式会社
14:00	血液浄化（透析液清浄化③） 13:35～14:15 O-141～O-144 座長 小川浩之	血液浄化（その他） 13:35～14:15 O-161～O-164 座長 村上 淳	ME機器（その他②） 13:35～14:15 O-180～O-183 座長 入谷隆一
15:00	血液浄化（災害対策） 14:15～14:55 O-145～O-148 座長 森上辰哉	血液浄化（膜の性能評価③） 14:15～14:55 O-165～O-168 座長 岡本智之	
	閉会式 14:55～15:00		
16:00			
17:00			
18:00			

第 18 回日本臨床工学会開催プログラム 日程

第 4 会場 4 階 第 2 会議室	第 5 会場 4 階 第 4 会議室	秋田県生涯学習センター 3 階 講堂	展示会場 地下展示ホール	会場
循環（ペースメーカー②） 8:50～9:45 O-184～O-189 座長 古川博一	市民公開講座 8:50～10:20 日本（JICA）の医療従事者による 海外支援活動の現状 ～世界は医療機器専門職・臨床工学技士の 活躍を求めています～ 司会 杉浦陽一 山下芳久	9:00～10:00 ポスター貼付け		9:00
血液浄化（患者管理） 9:50～10:45 O-190～O-195 座長 勢州谷忠昭				10:00
				11:00
		10:00～13:45 ポスター閲覧	9:00～14:30 企業展示会	12:00
ランチョンセミナー 8 12:25～13:25 講師 青池郁夫 司会 政金生人 共催 東レ・メディカル株式会社	ランチョンセミナー 9 12:25～13:25 講師 安藤勝信 司会 大河原晋 共催 日機装株式会社			13:00
ワークショップ 3 13:35～14:35 高気圧酸素治療の展望～第 1 種装置と第 2 種 装置のオペレーション技術の融合～ 司会 西山博司 田口彰一	呼吸（呼吸管理③） 13:35～14:15 O-196～O-199 座長 柴田浩樹			14:00
	呼吸（その他） 14:15～14:55 O-200～O-203 座長 金沢純一	13:45～14:55 ポスター発表		15:00
				16:00
				17:00
				18:00